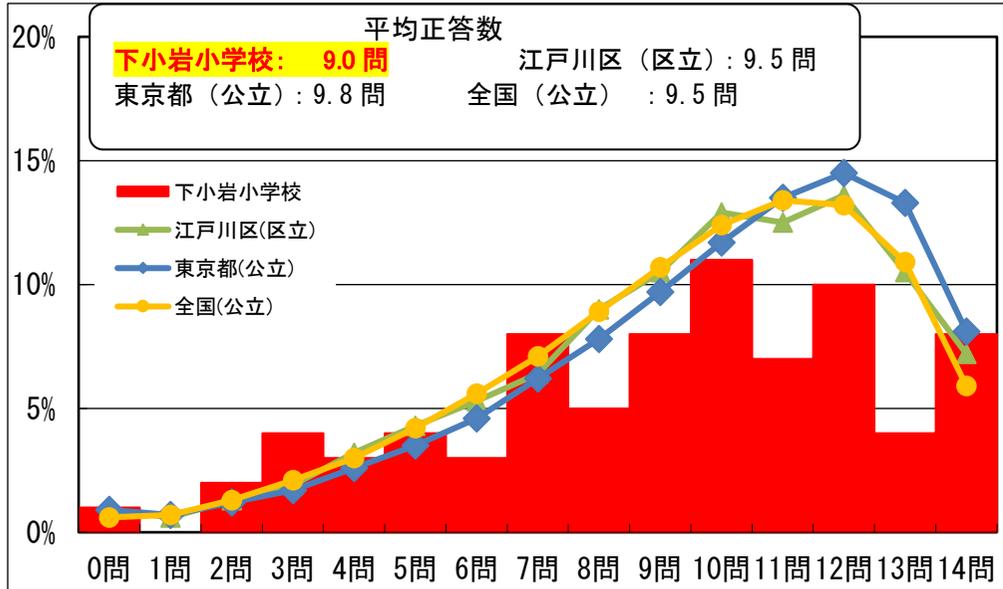


# 令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 下小岩小学校

## 正答数分布



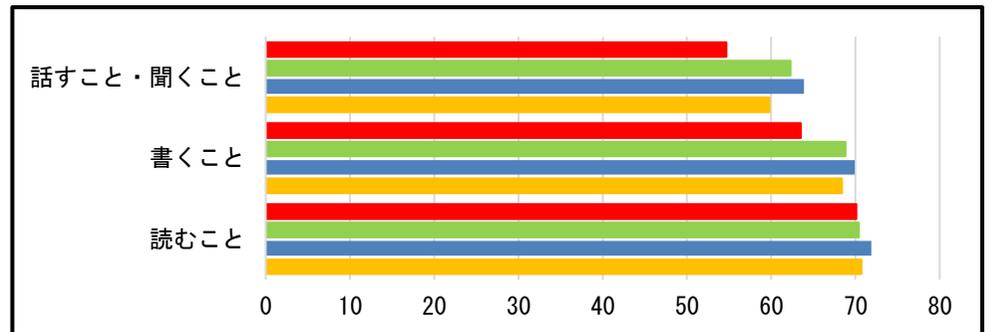
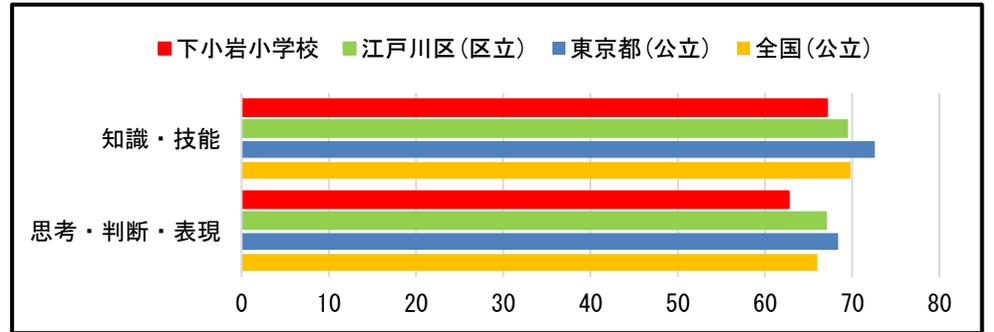
## <四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

国語	A層 12~14問	B層 10~11問	C層 8~9問	D層 0~7問
下小岩小学校	28.2	23.0	16.8	32.0
江戸川区(区立)	31.3	25.4	19.5	23.8
東京都(公立)	35.9	25.2	17.5	21.4
全国(公立)	30.0	25.8	19.6	24.6

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

## 「領域別」の結果



## 【平均正答率の差】

下小岩小学校	65%
江戸川区(区立)	68%
東京都(公立)	70%
全国(公立)	67.7%
都との差	5ポイント

%

## 【分析結果と授業改善に向けて】

各領域において、基礎的な問題に関する正答率の平均は下回っている傾向である。「心に残った理由を適切に表現する」問題や「資料を活用して自分の考えを表現する」という記述式の解答を求められる設問に対しては、正答率が下回っていた。漢字においても誤答が見られた。

### 【授業改善】

よむ YOMU ワークシートを活用し、資料を読み取ったことに対して考えをもち、書く活動を通して自分の考えを表現する力を身に付けさせる。漢字の書き取りはドリルパークを活用し、反復練習を図る。